

大学院改組で新専攻設置

―二十周年に「教育実践開発専攻」―

副学長(教育担当)
上野ひろ美

高度専門職業人を育てる大学院

奈良教育大学大学院は、国立大学法人となる平成十六年四月を機に、大学院改組をおこなった。折しも大学院開設二十周年を迎えたところである。

高度専門職業人としてリーダーシップを発揮できる教育者の養成をめざし、学部と連携した教員養成と、現職教員の受け入れを積極的におこなう、意欲的な改革である。二月十八日のNHKテレビ「かんさいニュース一番」で取り上げられるなど、大学内外から注目されている。

教育実践開発専攻の誕生

改組により、「教育実践開発専攻」が新設された。これは、カリキュラム開発や教育臨床など、教育実践についての問題解決に寄与できる、高度な専門性を身につける専攻である。

新専攻は二つの専修から成る。

●教科横断型の「カリキュラム開発専修」

教科にとらわれない教科横断型の専修で、「総合的学習の時間」や教材開発、学校カリキュラムについて学ぶ。カリキュラム開発、環境・野
外教育、伝統文化・文化財、異文化理解教育、
情報・ものづくり教育など、充実した教授陣に
よって、多彩で豊かな授業科目が展開される。

●学際的な「教育臨床・特別支援教育専修」

ここでは、心理学、教育学、医学からなる学際的カリキュラムのもとで授業が展開される。不登校、いじめ、非行問題についての理解と対応、また、LD・ADHD・高機能自閉症をはじめとする障害児についての理解と対応について、実践的に対処できる力量を身につける。今日の教育現場に切実に求められる専修といえる。

教育経営分野の授業を充実

改組によって教育経営分野が独立した。学校や組織をマネージメントするために必要な、学校経営的・教育経営的な視点に立った授業を増設し、スクール・リーダーを育てようとするものである。学校現場や教育行政の要望にこたえて、地域連携事業としての学校管理職講座の開催も予定している。

「研究科共通科目」の新設

―一回生全員が同時受講―

高度専門職業人としての教育者養成のために、一回生全員が同時に受講する研究科共通科目を新設した。学長による講義をはじめ、全専攻の教員が授業を担当し、これに第一線で活躍する学外講師が加わる。

その他、学校教育フィールドを活用した授業を取り入れるなど、法人への移行に伴い、新たに開発する大学院教育に期待がかかる。

改組後の組織

学校教育専攻(7名)	
教育科学専修	教育基礎 学校経営 幼儿教育
教育心理学専修	教育心理
教育実践開発専攻(8名)	
カリキュラム開発専修	カリキュラム開発
教育臨床・特別支援教育専修	教育臨床 特別支援教育
教科教育専攻(45名)	
国語教育専修	国語科教育 国語学・国文学
社会科教育専修	社会科教育 歴史・地理 人文・社会
数学教育専修	数学科教育 数学
理科教育専修	理科教育 物質科学 生命・地球科学
音楽教育専修	音楽科教育 音楽
美術教育専修(書道を含む)	美術科教育 美術
保健体育専修	保健体育科教育 保健体育学
英語教育	英語科教育 英語学・英米文学
生活科学教育専修	生活科学教育 生活科学